

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-11164

(P2005-11164A)

(43) 公開日 平成17年1月13日(2005.1.13)

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

G06F 17/60  
G06F 17/30  
G10H 1/00  
G10K 15/02

F I

G06F 17/60 314  
G06F 17/60 302E  
G06F 17/30 170Z  
G10H 1/00 Z  
G10K 15/02

テーマコード(参考)

5B075  
5D378

審査請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 14 頁)

(21) 出願番号

特願2003-176087(P2003-176087)

(22) 出願日

平成15年6月20日(2003.6.20)

(71) 出願人

503058359

株式会社マイソング

東京都渋谷区渋谷一丁目3番18号

ピラモデルナC-705

(74) 代理人

100064414

弁理士 磯野 道造

(72) 発明者

青木 正利

東京都渋谷区渋谷一丁目3番18号

ピラモデルナC-705 株

式会社マイソング内

Fターム(参考) 5B075 KK07 ND02 ND14 PP02 PP03

PQ02 PQ04 UU08

5D378 MM79 PP00 QQ01 QQ31 QQ38

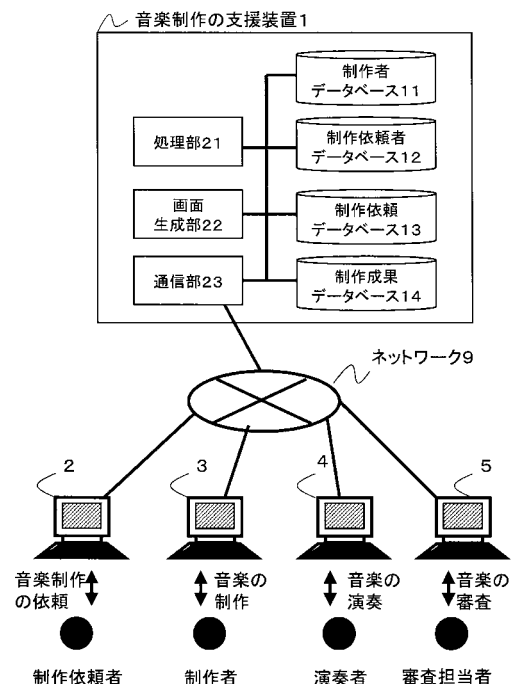
(54) 【発明の名称】 音楽制作の支援方法

(57) 【要約】

【課題】音楽の制作を依頼するユーザと音楽の制作者との間で、特定のユーザ向けの音楽の制作を効率的に支援する手法を提供すること。

【解決手段】音楽制作の支援装置1が、制作者の端末3から制作者の登録要求を受信して音楽制作の支援装置1の制作者データベースに登録する手順と、制作依頼者の端末2から制作依頼を受信して音楽制作の支援装置1の制作依頼データベースに登録する手順と、制作依頼者の端末2に制作者データベースに登録された制作者を検索させて制作者を決定する手段と、決定された制作者の端末3に制作依頼を送信する手順と、制作依頼を基に制作された音楽を制作者の端末3から受信して制作成果データベースに登録する手順とを含むことを特徴とする。これにより、特定のユーザ向けの音楽の制作を効率的に支援することができる。

【選択図】 図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

制作依頼者から音楽の制作を依頼された制作者による前記音楽の制作を支援する方法であって、音楽制作の支援装置が、制作者の端末から制作者の登録要求を受信して前記音楽制作の支援装置の制作者データベースに登録する手順と、制作依頼者の端末から制作依頼を受信して前記音楽制作の支援装置の制作依頼データベースに登録する手順と、前記制作依頼者の端末に前記制作者データベースに登録された制作者を検索させて制作者を決定する手段と、前記決定された制作者の端末に前記制作依頼を送信する手順と、前記制作依頼を基に制作された音楽を前記制作者の端末から受信して制作成果データベースに登録する手順とを含むことを特徴とする音楽制作の支援方法。

10

**【請求項 2】**

制作依頼者から音楽の制作を依頼された制作者による前記音楽の制作を支援する方法であって、音楽制作の支援装置が、制作者の端末から制作者の登録要求を受信して前記音楽制作の支援装置の制作者データベースに登録する手順と、制作依頼者の端末から制作依頼を受信して前記音楽制作の支援装置の制作依頼データベースに登録する手順と、前記制作者の端末に前記制作依頼データベースに登録された制作依頼を検索させて制作依頼への参加を入力させる手順と、前記制作依頼への参加を入力した前記制作者の端末に前記制作依頼を送信する手順と、前記制作依頼を基に制作された音楽を前記制作者の端末から受信して制作成果データベースに登録する手順と、前記受信された音楽から制作依頼として採用する音楽を決定する手順とを含むことを特徴とする音楽制作の支援方法。

20

**【請求項 3】**

前記採用する音楽を決定する手順は、前記制作された音楽を前記制作依頼を行った前記制作依頼者の端末に提示する手順と、前記制作依頼者によって選択された音楽を前記採用する音楽として決定する手順とを含むことを特徴とする請求項 2 に記載の音楽制作の支援方法。

**【請求項 4】**

前記採用する音楽を決定する手順は、前記制作された音楽を審査する審査担当者の端末に提示する手順と、前記審査担当者の端末から受信した審査結果に基づいて前記採用する音楽を決定する手順とを含むことを特徴とする請求項 2 に記載の音楽制作の支援方法。

**【請求項 5】**

前記音楽制作の支援装置が、前記制作依頼データベースに登録された前記制作依頼に基づいて、音楽の演奏を担当する演奏者を前記制作者データベースに登録された前記制作者から特定する手順と、前記制作依頼および前記制作された音楽を前記演奏者の端末に送信する手順と、前記制作依頼および前記制作された音楽を基に演奏された音楽を前記演奏者の端末から受信して前記制作成果データベースに登録する手順とをさらに含むことを特徴とする請求項 1 ないし請求項 4 のいずれか 1 項に記載の音楽制作の支援方法。

30

**【請求項 6】**

前記音楽制作の支援装置が、前記制作成果データベースに登録された前記制作された音楽または前記演奏された音楽を、前記音楽制作の支援装置が接続されたネットワークを介してオンラインで提供または販売を行うことを特徴とする請求項 1 ないし請求項 5 のいずれか 1 項に記載の音楽制作の支援方法。

40

**【請求項 7】**

前記制作者データベースに登録する手順は、前記音楽制作の支援装置が、前記制作者の端末に登録を行わせるための制作者の登録画面を表示させる手順を含み、前記制作者の登録画面は、制作者を識別するための情報である制作者の個人情報、制作者が担当を希望する音楽のジャンルを示す制作希望のジャンル、制作者の音楽活動の経歴文章または紹介文章のうち少なくとも 1 つの文章から構成される制作者の紹介データ、ならびに、制作者が担当を希望する音楽の分野を示す制作希望の担当分野を入力させる手段を有することを特徴とする請求項 1 ないし請求項 6 のいずれか 1 項に記載の音楽制作の支援方法。

**【請求項 8】**

50

前記作者の登録画面は、制作者によって制作された音楽の作品である作品のサンプルデータを登録させる手段を更に含めることを特徴とする請求項7に記載の音楽制作の支援方法。

【請求項9】

前記制作依頼データベースに登録する手順は、前記音楽制作の支援装置が、前記制作依頼者の端末に登録を行わせるための制作依頼の登録画面を表示させる手順を含み、前記制作依頼の登録画面は、制作依頼者を識別するための情報である制作依頼者の個人情報、および、音楽を制作する素材となる情報であって少なくとも文章を含む制作素材データを入力させる手段を有することを特徴とする請求項1ないし請求項8のいずれか1項に記載の音楽制作の支援方法。

10

【請求項10】

前記制作依頼の登録画面は、音楽についての制作希望のジャンル、音楽を制作する際の希望を示す制作希望データ、ならびに、音楽を演奏する際の希望を示す演奏希望データのうちの少なくとも1つを入力させる手段を更に含めることを特徴とする請求項9に記載の音楽制作の支援方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、音楽制作の支援方法に関する。

【0002】

20

【従来の技術】

音楽の制作者によって制作された音楽は、CDなどの媒体の販売やオンラインによる販売によってユーザ（リスナ）の手元に届けられ、身近に楽しめる娯楽として定着している。これらの販売される音楽（以下、既製曲と呼ぶ）について、より多くのユーザに購入してもらうために、不特定多数の人々を対象とした内容の楽曲、または、特定の性別や年齢層のユーザを対象として、それらの人々に共感されるような内容の音楽が、制作されることも多い。

【0003】

よって、好みが様々に異なる各ユーザは、自分の好みに適合する音楽を、既製曲から検索するのに手間を要する。よって、既製曲のデータベースから、自分の好みなどの検索条件によって、好みに近い既製曲を検索する手法が提案されている（例えば、特許文献1参照）。これにより、自分の好みの音楽を探すユーザは、実際に音楽を個別に試聴して検索する方法に比べ、より効率的に自分の好みの音楽を得ることができる。

30

【0004】

【特許文献1】

特開2002-278566号公報（段落[0011]など）

【0005】

【発明が解決しようとする課題】

一方、例えば人生のイベント（結婚式など）に関する思い出として、既製曲にはない独自の音楽を、新たに音楽の制作者に制作して欲しいというニーズも高まっている。なお、新たな音楽の制作を希望するユーザは、例えば、自らの独自の哲学を音楽として表現したい経営者、結婚式の記念として花嫁に音楽を贈呈したい花婿、制作した自分史を音楽としても記録したいユーザ、ならびに、妻への感謝の気持ちを音楽としてプレゼントしたい夫、などが挙げられる。そして、新たな音楽の制作を希望するユーザは、例えば楽器を演奏できるなどの音楽の専門知識を十分に有していれば、自作することは可能である。しかし、多くのユーザは、音楽の専門知識を有していないので、音楽の専門家に制作を依頼することが必要となる。

40

【0006】

ここで、音楽の制作を依頼するユーザは、音楽の専門家に、依頼内容を伝達する必要がある。しかし、音楽は制作工程が複雑（例えば、作曲、作詞、編曲、ならびに、演奏の各工

50

程があり、それぞれ担当者が異なることも多い)であり、希望する音楽の依頼情報を効果的に伝えることは、専門知識を有していないユーザにとって、困難な作業となる。

【0007】

よって、音楽の制作を依頼するユーザから各制作工程の担当者に、希望する音楽の依頼情報を効率的に伝達する手法が、必要となる。しかし、従来の音楽に関するシステムは、すでに制作を終えた音楽を対象としているもの(例えば、特許文献1)、または、制作者同士で音楽の制作を行う過程を支援するものであり、音楽の制作を依頼するユーザと、音楽の制作担当者との間で、依頼情報を効率的に伝達するという目的には、適合していなかった。

【0008】

そこで、本発明の主な課題は、音楽の制作を依頼するユーザと音楽の制作者との間で、特定のユーザ向けの音楽の制作を効率的に支援する手法を提供することである。

【0009】

【課題を解決するための手段】

本発明は、前記目的を達成するために創案されたものであり、制作依頼者から音楽の制作を依頼された制作者による前記音楽の制作を支援する方法であって、音楽制作の支援装置が、制作者の端末から制作者の登録要求を受信して前記音楽制作の支援装置の制作者データベースに登録する手順と、制作依頼者の端末から制作依頼を受信して前記音楽制作の支援装置の制作依頼データベースに登録する手順と、前記制作依頼者の端末に前記制作者データベースに登録された制作者を検索させて制作者を決定する手段と、前記決定された制作者の端末に前記制作依頼を送信する手順と、前記制作依頼を基に制作された音楽を前記制作者の端末から受信して制作成果データベースに登録する手順とを含むことを特徴とする。

【0010】

【発明の実施の形態】

以下に、本発明が適用される音楽制作の支援システムの一実施形態について、図面を参照して詳細に説明する。まず、本実施形態の音楽制作の支援システムの構成について、図1を参照して説明する。

【0011】

まず、図1に示す音楽制作の支援システムは、制作依頼者から音楽の制作を依頼された制作者による音楽の制作を支援する機能を有する。このため、音楽制作の支援システムは、制作依頼者と制作者との音楽の制作に関するデータを仲介する音楽制作の支援装置1と、制作依頼者が音楽制作の支援装置1にアクセスするための制作依頼者の端末2と、制作者が音楽制作の支援装置1にアクセスするための制作者の端末3と、演奏者が音楽制作の支援装置1にアクセスするための演奏者の端末4と、審査担当者が音楽制作の支援装置1にアクセスするための審査担当者の端末5と、音楽制作の支援システムの各装置を接続するネットワーク9とを含んで構成される。なお、音楽制作の支援装置1は、例えば、CPU(Central Processing Unit)、RAM(Random Access Memory)、ならびに、HDD(Hard Disk Drive)を備えたPC(Personal Computer)として構成され、適宜プログラムを読み込んで実行する。

【0012】

次に、音楽制作の支援装置1の構成について、図1を参照して、より具体的に説明する。音楽制作の支援装置1は、制作者に関する情報が登録される制作者データベース11と、制作依頼者に関する情報が登録される制作依頼者データベース12と、制作依頼に関する情報が登録される制作依頼データベース13と、制作された音楽を格納する制作成果データベース14と、音楽の制作を支援する際の各処理を行う処理部21と、ユーザの端末に所定の画面を提供する画面生成部22と、ユーザの端末とデータをやりとりするインタフェースである通信部23を含んで構成される。なお、通信部23は、例えば、NIC(Network Interface Card)により構成され、ネットワーク9と接続

10

20

30

40

50

されている。

【0013】

さらに、音楽制作の支援装置1の制作者データベース11について、図2を参照して、より具体的に説明する。制作者データベース11が管理するデータは、制作者に関する情報である制作者の登録データ110である。具体的には、制作者の登録データ110は、制作者を識別するための情報であり、ID（制作者の識別子）、名前、住所、ならびに、連絡先などから構成される制作者の個人情報111と、制作者が担当を希望する音楽のジャンルを示す制作希望のジャンル112と、制作者が制作依頼者にアピールする情報であり、音楽活動の経歴などにより構成させる制作者の紹介データ113と、作詞、作曲、編曲、ならびに、演奏などの制作者が担当を希望する音楽の分野を示す制作希望の担当分野115とを含んで構成される。なお、制作希望のジャンル112は、例えば、“ロック”、“ポップス”、ならびに“演歌”などであり、音楽の分類を示す情報である。また、制作者の登録データ110は、制作者が制作依頼者にアピールする情報であり、制作者によって制作された音楽の作品である作品のサンプルデータ114を含めてもよい。

【0014】

そして、音楽制作の支援装置1の制作依頼者データベース12について、図3を参照して、より具体的に説明する。制作依頼者データベース12が管理するデータは、制作依頼者に関する情報である制作依頼者の登録データ120である。具体的には、制作依頼者の登録データ120は、制作依頼者を識別するための情報であり、ID、名前、住所、ならびに、連絡先などから構成される制作依頼者の個人情報121と、制作依頼者の依頼した制作依頼を識別するための制作依頼ID122とを含んで構成される。なお、1人の制作依頼者が複数の制作依頼を行うことも起こりうるので、図3は、制作依頼ID122が複数記述されている例を示している。

【0015】

さらに、音楽制作の支援装置1の制作依頼データベース13について、図4を参照して、より具体的に説明する。制作依頼データベース13が管理するデータは、制作依頼者によって指定される制作依頼データ130である。具体的には、制作依頼データ130は、個々の制作依頼の属性情報である制作依頼の属性情報131と、制作依頼者によって指定される音楽についての制作希望のジャンル132と、制作依頼者によって指定される音楽を制作する素材となる文章、画像などの資料である制作素材データ133と、制作依頼者によって指定される音楽を制作する際の希望を示す制作希望データ134と、制作依頼者によって指定される音楽を演奏する際の希望を示す演奏希望データ135とを含んで構成される。ここで、制作依頼の属性情報131は、所定のID、制作依頼者、制作者、ならびに、制作の進捗を示す情報などにより構成される。さらに、所定のIDは、制作依頼を識別するIDおよび制作依頼を担当する制作者を識別するIDを指す。

【0016】

以上、本実施形態の音楽制作の支援システムの構成について、説明した。次に、本実施形態の音楽制作の支援システムの動作について、図1～図4を参照しつつ、図5および図6に沿って説明する。なお、図5および図6は、主に音楽制作の支援装置1の動作に着目したフローチャートである。また、この動作説明において、音楽制作の支援システムの構成を、より明らかにする。

【0017】

以下、音楽制作の支援のうち、制作者を決定した後に、制作を行う動作について、図5を参照して説明する。なお、図5に示す処理は、制作者が制作依頼を受注するという観点で記述したものであり、“受注型の制作支援”と表記する。

【0018】

まず、S101（前準備）について、説明する。音楽制作の支援装置1は、音楽制作を支援する前準備として、制作者を制作者データベース11に登録させる。よって、音楽制作の支援装置1は、画面生成部22によって生成された図7に示す制作者の登録画面51を制作者の端末3に送信して、制作者からの登録を促す。制作者の端末3は、受信した制作

者の登録画面51について、Webブラウザなどのアプリケーションソフトを介して、制作者に入力させる手段を提供する。そして、制作者の端末3は、例えば図示しないキーボードからの文字入力を制作者の登録画面51の入力欄に入力させて、制作者からの登録の内容を受け付ける。さらに、制作者の端末3は、入力された制作者からの登録の内容を、音楽制作の支援装置1に返信する。

#### 【0019】

ここで、制作者の登録画面51を用いた制作者の登録について、図7を用いて、より具体的に説明する。制作者の登録画面51は、制作者データベース11に登録させる制作者の登録データ110を入力させる手段を提供する。このため、制作者の登録画面51は、制作者の個人情報111を入力させる入力欄211と、制作希望のジャンル112を入力させる入力欄212と、制作者の紹介データ113を入力させる入力欄213と、作品のサンプルデータ114を入力させる入力欄214と、制作希望の担当分野115を入力させる入力欄215とを含んで構成される。なお、作品のサンプルデータ114を入力させる入力欄214は、文字形式以外の形式（例えば、音声ファイル形式）にも対応するため、例えば、作品のサンプルデータ114である添付ファイルを添付させるために、添付ファイルの位置を指定させるボタンにより構成される。なお、各入力欄は、例えば、文字を入力させるテキストボックスによって構成される。また、入力する項目が所定の入力候補から選択させる場合（例えば、制作希望の担当分野115を入力させる入力欄215）は、入力候補ごとに有効または無効を選択させるチェックボタン形式によって構成してもよい。

10

20

#### 【0020】

次に、S102（制作依頼の受信）について、説明する。音楽制作の支援装置1は、ネットワーク9を介して音楽制作を希望する制作依頼者の端末2からのアクセスを受け、制作依頼を受信する。よって、まず、音楽制作の支援装置1は、画面生成部22によって生成された制作依頼を登録させるための制作依頼の登録画面52を、アクセスを行った制作依頼者の端末2に提供して、制作依頼の登録を促す。そして、制作依頼者の端末2は、制作依頼者からの入力を受け付け、その入力内容を音楽制作の支援装置1に返信する。

#### 【0021】

ここで、制作依頼の登録画面52を用いた制作依頼の登録について、図8を用いて、より具体的に説明する。制作依頼の登録画面52は、制作依頼者データベース12に登録させる制作依頼者の登録データ120、ならびに、制作依頼データベース13に登録させる制作依頼データ130を入力させる手段を提供する。このため、制作依頼の登録画面52は、制作依頼者の個人情報121を入力させる入力欄221と、制作依頼ID122を入力させる入力欄221と、制作依頼データ130を入力させる入力欄221と、制作依頼の属性情報131を入力させる入力欄231と、制作希望のジャンル132を入力させる入力欄232と、制作素材データ133を入力させる入力欄233と、制作希望データ134を入力させる入力欄234と、演奏希望データ135を入力させる入力欄235とを含んで構成される。

30

#### 【0022】

さらに、S103（制作者の決定）について、説明する。音楽制作の支援装置1は、所定の制作依頼を担当する制作者について、例えば、制作依頼者に選択させることによって決定する。よって、音楽制作の支援装置1は、制作依頼者が制作者を選択するための制作者の検索画面53を、制作依頼者の端末2に提供して、登録されている制作者の候補を検索させる（図9参照）。そして、音楽制作の支援装置1は、所定の制作依頼と担当する制作者との対応情報について、制作依頼データベース13の制作依頼の属性情報131に記述する。制作依頼の属性情報131への記述は、例えば、担当する制作者を識別するIDを、制作依頼の属性情報131に追加することである。

40

#### 【0023】

ここで、図9に示す制作者の検索画面53について、より具体的に説明する。まず、制作者の検索画面53は、1つ以上の検索条件を入力させるための画面である。なお、各検索

50

条件は、各行に対応している。そして、検索条件が複数入力された場合は、それらの検索条件の関係も入力させる。図9では、1つめの検索条件として、“制作者の個人情報”が“住所=東京都、性別=女性”であり、2つめの検索条件として、“制作希望の担当分野”が“作曲”である、という2つの検索条件が入力されている。そして、2つの検索条件の関係として、“条件1かつ条件2を満たす制作者を検索”が入力されている。音楽制作の支援装置1は、これらの入力された検索条件を基に、処理部21がパターンマッチングなどによって制作依頼者データベース12から検索を行うことにより、検索条件に適合する制作者のリストを得る。そして、音楽制作の支援装置1は、制作者のリストを制作依頼者の端末2に提示して、制作者の選択を促す。

**【0024】**

10

そして、S104（制作依頼の送信）について、説明する。音楽制作の支援装置1は、S103（制作者の決定）によって決定された制作者の端末3に対して、制作依頼データベース13に格納されている制作依頼データ130のうちの担当対象となるデータを送信する。そして、制作者の端末3は、担当対象となる制作依頼データ130を受信して、制作者に提示する。

**【0025】**

さらに、S105（制作された楽曲の受信）について、説明する。まず、制作者の端末3は、制作依頼データ130を基にして制作者によって制作された楽曲のデータを、制作者に入力させる。次に、音楽制作の支援装置1は、ネットワーク9を介して、制作者の端末3から制作された楽曲のデータを受信する。そして、音楽制作の支援装置1は、受信した楽曲のデータを制作成果データベース14に登録する。

20

**【0026】**

ここで、S106（制作された楽曲の審査）について、説明する。音楽制作の支援装置1は、制作された楽曲データについて、制作依頼データ130を基にして、形式的な審査を行ってもよい。なお、形式的な審査は、例えば、制作素材データ133によって指定された、必ず歌詞に含める所定のキーワードが、制作された楽曲の歌詞データに含まれているかどうかについて、処理部21によってテキスト検索を行うことである。そして、処理部21は、所定のキーワードが歌詞データから発見された場合に、審査を通過したとみなす。

。

**【0027】**

30

なお、形式的な審査において、審査を通過できない楽曲データについて、音楽制作の支援装置1の対応の一例を、より具体的に説明する。まず、音楽制作の支援装置1は、制作依頼者の端末2に審査を通過できない理由を通知して、再度、音楽制作を依頼する動作を行ってもよい。その場合は、処理をS104（制作依頼の送信）に戻す。

**【0028】**

そして、S107（制作された楽曲の演奏）について、説明する。音楽制作の支援装置1は、制作された楽曲データを基に、演奏データを作成するための支援を行ってもよい。まず、音楽制作の支援装置1は、制作者データベース11の制作希望の担当分野115を参照して、“演奏”または“歌唱”の分野を担当可能な制作者のリストを得る。次に、音楽制作の支援装置1は、制作依頼データベース13の演奏希望データ135を参照し、制作依頼に関する演奏希望を得る。さらに、音楽制作の支援装置1は、担当可能な制作者のリストと、演奏希望とを照合することにより、制作された楽曲の演奏を担当する演奏者を、制作者から決定する。なお、照合の処理は、例えば、演奏希望データ135として“女性の歌手を希望する”旨が記されている場合、制作希望の担当分野115において“歌唱”が可能、かつ、制作者の個人情報111において性別が“女性”の制作者を選別するという処理である。

40

**【0029】**

なお、S107（制作された楽曲の演奏）において、音楽制作の支援装置1は、決定された演奏者の端末4に、制作依頼データ130および制作された楽曲を送信する。演奏者の端末4は、受信した制作依頼データ130および制作された楽曲を基に演奏されたデータ

50

について、例えば音声波形形式によって、演奏者に登録させる。また、演奏されたデータは、映像撮影手段（図示は省略）によって撮影された映像形式によって、登録させてもよい。さらに、音楽制作の支援装置 1 は、演奏者の端末 4 から登録された演奏データを受信し、制作成果データベース 14 に追加する。

【0030】

また、S107（制作された楽曲の演奏）において、所定の演奏者に加えて、制作依頼者が歌唱または演奏に参加してもよい。その場合、演奏が行われるために、制作依頼データ 130 および制作された楽曲は、演奏者の端末 4 に加え、制作依頼者の端末 2 にも送信される。なお、制作依頼者が歌唱する場合は、制作依頼者の発声可能な音域を考慮して、制作依頼者の発声可能な既存の楽曲の名称を、制作素材データ 133 に記述させてもよい（S102 参照）。

10

【0031】

さらに、S108（制作された音楽の流通）について、説明する。音楽制作の支援装置 1 は、制作成果データベース 14 に登録された制作の成果（楽曲データまたは楽曲の演奏データ）について、ネットワーク 9 を介して、オンラインで提供する動作を行ってもよい。なお、楽曲データまたはその演奏データは、有料または無料によって、音楽制作の支援装置 1 にアクセスする端末（図示せず）に提供される。ここで、有料での提供時には、例えばクレジットカード番号の入力などの所定の課金処理が行われる。

【0032】

以上、受注型の制作支援について、図 5 を参照して説明した。これにより、音楽制作の支援装置 1 は、制作依頼者データベース 12 に登録された制作者と、制作依頼者とを仲介することにより、制作者は、制作依頼者からの音楽の制作の機会を、効率的に得ることが可能となる。

20

【0033】

次に、音楽制作の支援のうち、制作者によって制作が行われた後に、制作依頼を担当する制作者を決定する動作について、図 6 を参照して説明する。なお、図 6 に示す処理は、複数の制作者が制作依頼を競作するという観点で記述したものであり、“競作型の制作支援”と表記する。

【0034】

まず、S201（前準備）について、説明する。音楽制作の支援装置 1 は、音楽制作を支援する前準備として、制作者を制作者データベース 11 に登録させる。この動作は、図 7 に示す制作者の登録画面 51 を用いたものであり、S101（前準備）と同様の処理である。

30

【0035】

次に、S202（制作依頼の受信）について、説明する。音楽制作の支援装置 1 は、ネットワーク 9 を介して音楽制作を希望する制作依頼者の端末 2 からのアクセスを受け、制作依頼を受信する。なお、この動作は、図 8 に示す制作依頼の登録画面 52 を用いたものであり、S102（制作依頼の受信）と同様の処理である。

【0036】

さらに、S203（制作候補者の登録）について、説明する。音楽制作の支援装置 1 は、制作者（実際は、まだ制作者として決定されていないため、制作候補者である）の端末 3 から、所定の制作依頼への参加希望を登録させる。なお、制作依頼への参加希望の受付は、図 10 に示す制作依頼の検索画面 54 を用いて、行われる。

40

【0037】

ここで、図 10 に示す制作依頼の検索画面 54 について、より具体的に説明する。音楽制作の支援装置 1 は、制作依頼の検索画面 54 を制作者（制作候補者）の端末 3 に提示して、制作依頼データベース 13 に登録された制作依頼から、所定の制作依頼を選択させる。なお、制作依頼を選択される際の条件の入力については、図 9 に示す制作者の検索画面 53 と同様に行われる。音楽制作の支援装置 1 は、入力された検索条件を基に、制作依頼データベース 13 から検索条件に適合する制作依頼のリストを検索し、制作者（制作候補者

50



)に提示する。なお、制作依頼のリストを提示する際に、提示先の制作者(制作候補者)とは別の制作者(制作候補者)が、所定の制作依頼に参加希望を登録することもありうる。制作依頼ごとに、参加希望を行った制作者(制作候補者)の人数を併せて表示し、競争率を制作者(制作候補者)に把握させてもよい。これにより、特定の制作依頼への参加希望の集中を緩和することができ、複数の制作依頼が、効率的に別々の制作者へと割り振られることが期待できる。

【0038】

そして、S204(制作依頼の送信)について、説明する。音楽制作の支援装置1は、S203(制作候補者の登録)登録された制作者(制作候補者)の端末3に対して、制作依頼データベース13に格納されている制作依頼データ130を送信する。

10

【0039】

さらに、S205(制作された楽曲の受信)について、説明する。まず、制作者の端末3は、制作依頼データ130を基にして制作者によって制作された楽曲のデータを、制作者(制作候補者)に入力させる。次に、音楽制作の支援装置1は、ネットワーク9を介して、制作者(制作候補者)の端末3から制作された楽曲のデータを受信する。

【0040】

そして、S206(制作された楽曲の審査および採用する楽曲の決定)について、説明する。音楽制作の支援装置1は、制作された楽曲データについて、制作依頼データ130を基にして、S106(制作された楽曲の審査)と同様に、形式的な審査を行ってもよい。

【0041】

さらに、制作された楽曲の内容に関する審査について、説明する。音楽制作の支援装置1は、各制作候補者によって制作された各楽曲データについて、制作依頼者に審査を促すために、制作依頼者の端末2に送信する。制作依頼者の端末2は、制作依頼者に受信した各楽曲データを提示し、制作された楽曲の内容に関する審査のデータを受け付ける。審査のデータは、例えば、複数の楽曲データのうちの制作依頼を最も満足する楽曲データの識別番号である。そして、音楽制作の支援装置1は、制作依頼者の端末2から審査のデータを受信し、登録された制作候補者から制作依頼として採用する楽曲データの制作者を決定する。

20

【0042】

ここで、制作された楽曲の内容に関する審査について、音楽制作の支援装置1は、制作依頼者とは別の審査担当者を審査に参加させる動作を行ってもよい。その場合、音楽制作の支援装置1は、制作された各楽曲データを制作依頼者の端末2に加え、審査担当者の端末5にも併せて送信する。そして、審査担当者の端末5は、受信した各楽曲データに対する審査のデータを審査担当者に入力させて、音楽制作の支援装置1に返信する。さらに、音楽制作の支援装置1は、受信した審査のデータ(制作依頼者からのもの、および、審査担当者からのもの)を基に、例えば個々の審査のデータの点数から重み付け加算を行うことにより、登録された制作候補者から制作依頼として採用する楽曲データの制作者を決定する。

30

【0043】

さらに、S207(制作された楽曲の演奏)について、説明する。音楽制作の支援装置1は、S107(制作された楽曲の演奏)と同様に、制作された楽曲データを基に、演奏データを作成するための支援を行ってもよい。

40

【0044】

また、S208(制作された音楽の流通)について、説明する。音楽制作の支援装置1は、S108(制作された音楽の流通)と同様にして、制作成果データベース14に登録された制作の成果(楽曲データまたは楽曲の演奏データ)について、ネットワーク9を介して、オンラインで提供する動作を行ってもよい。

【0045】

以上、競作型の制作支援について、図6を参照して説明した。これにより、音楽制作の支援装置1は、1つの制作依頼に対して、複数の制作者に対応するので、より制作依頼者の

50

満足する音楽を、制作者に納品させることができる。

【0046】

以上、本発明の一実施形態について説明した。かかる構成によれば、楽曲の制作を依頼するユーザと楽曲の制作者との間で、特定のユーザ向けの楽曲の制作を効率的に支援することができる。

【0047】

以上説明した本発明は、発明の趣旨を逸脱しない範囲で広く変形実施することができる。

【0048】

例えば、所定の制作依頼を担当する制作者は、1人の制作者に限定されず、複数の制作者が1つの制作依頼を担当分野ごとに分担して制作を行ってもよい。その場合、音楽制作の支援装置1は、所定の制作依頼に関する制作依頼データ130を、複数の制作者に同時に送信して、各制作者に制作を促すものとする。

10

【0049】

また、音楽制作の支援装置1は、制作者間または制作者と制作依頼者との間で、制作に関する詳細な指示を伝達可能とするために、簡易的な伝達手段を別途設ける構成としてもよい。簡易的な伝達手段は、例えば、テキスト形式でメッセージを記述可能な電子掲示板である。

【0050】

さらに、音楽制作の支援装置1は、制作成果データベース14に登録された音楽について、様々な形式で顧客に提供することが可能である。例えば、贈答用などで歌詞を記述したメッセージカードを付して、音楽の旋律を記録したオルゴールをオルゴール業者に作成させるために、当該担当のオルゴール業者の端末に、制作成果データベース14に登録された音楽を付して発注データを送信してもよい。また、音楽制作の支援装置1は、制作成果データベース14に登録された音楽について、所定のイベント(結婚式など)の会場で演奏させるために、会場に設置された演奏装置に、登録された音楽を配信してもよい。

20

【0051】

そして、音楽制作の支援装置1は、登録された音楽を、音楽の配信装置に送信して、音楽の配信を行わせてもよい。なお、音楽の配信装置は、例えば、テレビの放送装置、インターネットなどのネットワークに接続されたサーバ装置、カラオケの演奏装置、ならびに、携帯電話の着信音(歌詞などによる待ち受け画面の提供を含む)の配信装置である。なお、携帯電話の着信音は、例えば、着信メロディ(ボーカルのパートを楽器の演奏音に置き換えたもの)、または、着信曲(ボーカルの歌声を含む演奏)である。さらに、音楽制作の支援装置1は、配信された音楽に対する評価情報(例えば、アンケート形式)を受信して、制作者や制作依頼者などに通知してもよい。

30

【0052】

また、音楽制作の支援装置1は、制作依頼者データベース12に制作依頼者を登録させる際に、会員に関する属性を付してもよい。そして、音楽制作の支援装置1は、例えば、制作依頼の数により、会員となる制作依頼者を優遇(例えば、割引価格の提示)する処理を付してもよい。

【0053】

さらに、ユーザは、音楽制作の支援装置1に登録された音楽を活用して、様々なサービスを提供(無料による贈答、または、有料による販売)することができる。なお、サービスの一例としては、制作された音楽の記録媒体(例えば、CD-ROMに記録された音声波形形式の音楽演奏データ、または、DVD-ROMに記録された映像形式の音楽演奏データ)による提供方法、ならびに、制作された音楽と付加商品とを組にした提供方法、などが挙げられる。ここで、付加商品は、例えば、花束、メッセージカード、写真集などの印刷物、ならびに、人形などであり、付加商品を主な商品として(制作された音楽を付属の商品として)提供することも可能である。

40

【0054】

【発明の効果】

50

本発明により、楽曲の制作を依頼するユーザと楽曲の制作者との間で、特定のユーザ向けの楽曲の制作を効率的に支援することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の一実施形態に係る音楽制作の支援システムの構成図である。

【図 2】本発明の一実施形態に係る制作者データベースの構成図である。

【図 3】本発明の一実施形態に係る制作依頼者データベースの構成図である。

【図 4】本発明の一実施形態に係る制作依頼データベースの構成図である。

【図 5】本発明の一実施形態に係る音楽制作の支援システムの動作のうちの受注型の制作支援を示すフローチャートである。

【図 6】本発明の一実施形態に係る音楽制作の支援システムの動作のうちの競作型の制作支援を示すフローチャートである。 10

【図 7】本発明の一実施形態に係る制作者の登録画面の一例を示す図である。

【図 8】本発明の一実施形態に係る制作依頼の登録画面の一例を示す図である。

【図 9】本発明の一実施形態に係る制作者の検索画面の一例を示す図である。

【図 10】本発明の一実施形態に係る制作依頼の検索画面の一例を示す図である。

【符号の説明】

1 ... 音楽制作の支援装置

2 ... 制作依頼者の端末

3 ... 制作者の端末

4 ... 演奏者の端末

5 ... 審査担当者の端末

9 ... ネットワーク

1 1 ... 制作者データベース

1 2 ... 制作依頼者データベース

1 3 ... 制作依頼データベース

1 4 ... 制作成果データベース

2 1 ... 処理部

2 2 ... 画面生成部

2 3 ... 通信部

5 1 ... 制作者の登録画面

5 2 ... 制作依頼の登録画面

5 3 ... 制作者の検索画面

5 4 ... 制作依頼の検索画面

1 1 0 ... 制作者の登録データ

1 1 1 ... 制作者の個人情報

1 1 2 ... 制作希望のジャンル

1 1 3 ... 制作者の紹介データ

1 1 4 ... 作品のサンプルデータ

1 1 5 ... 制作希望の担当分野

1 2 0 ... 制作依頼者の登録データ

1 2 1 ... 制作依頼者の個人情報

1 2 2 ... 制作依頼 I D

1 3 0 ... 制作依頼データ

1 3 1 ... 制作依頼の属性情報

1 3 2 ... 制作希望のジャンル

1 3 3 ... 制作素材データ

1 3 4 ... 制作希望データ

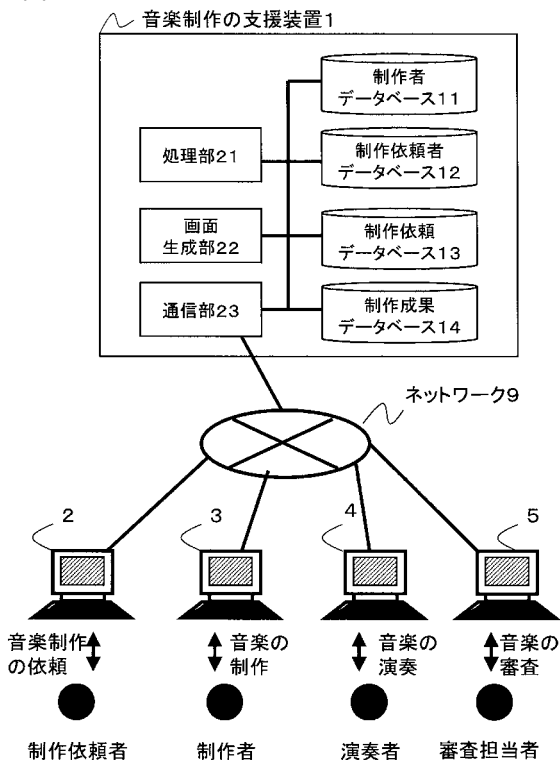
1 3 5 ... 演奏希望データ

20

30

40

【 図 1 】



【 図 2 】

制作者の登録データ110

制作者データベース11

111	112	113	114	115	.....
制作者の個人情報 A(ID=101) 住所=** 連絡先=*	制作希望のジャンル ロック、ポップス	制作者の紹介データ X音楽大学卒業、音楽歴10年 「心を込めて、制作致します」	作品のサンプル (演奏の録音データ)	制作希望の担当分野 作曲、編曲(特にギター)	.....
B(ID=102) 住所=** 連絡先=*	演歌	Xコンテスト入賞、X新人賞受賞	(歌詞データ)	作曲、作詞、歌唱	.....
C(ID=103) 住所=** 連絡先=*	ジャズ	Xコンテスト入賞	(演奏の録音データ)	編曲、演奏(特にドラム)	.....
D(ID=104) 住所=** 連絡先=*	クラシック	X音楽大学卒業、音楽歴15年	(演奏の録音データ)	作曲、編曲(特にピアノ)	.....
.	.	.	.	.	.....
.	.	.	.	.	.....

【 図 3 】

制作依頼者の登録データ120

制作依頼者データベース12

121	122	.....
制作依頼者の個人情報 E(ID=201) 住所=** 連絡先=*	制作依頼ID ID=801, 802	.....
F(ID=202) 住所=** 連絡先=*	ID=811	.....
G(ID=203) 住所=** 連絡先=*	ID=821	.....
H(ID=204) 住所=** 連絡先=*	ID=831, 832	.....
.	.	.....
.	.	.....

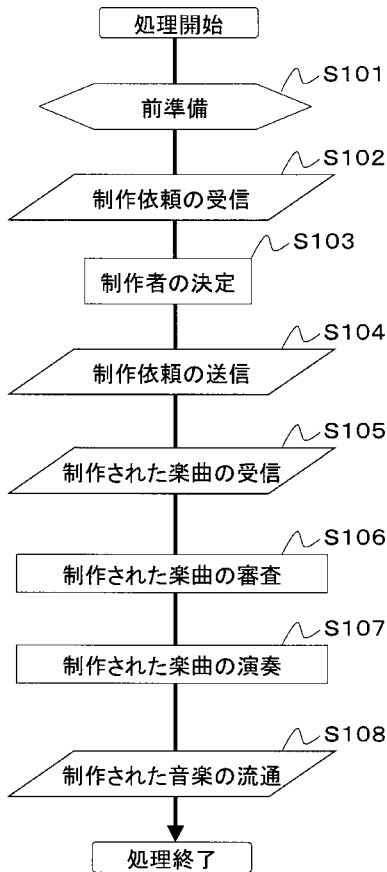
【 図 4 】

制作依頼データ130

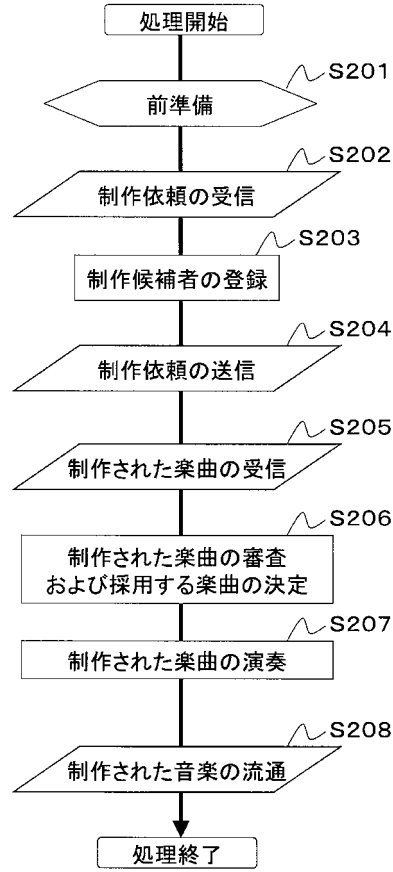
制作依頼データベース13

131	132	133	134	135	.....
制作依頼の属性情報 制作依頼ID=801 制作依頼ID=101 原題: 5/10まで	制作希望のジャンル ロック、ポップス	制作素材データ (原文)、(歌詞に"置して"を含まない)	制作希望データ (好きなアーティスト: XXグループ) (好きな曲: XXX)	演奏希望データ (演奏希望アーティスト: XXグループ)	.....
制作依頼ID=802 制作依頼ID=102	演歌	(原文)、(制作依頼者の写真画像)	(好きな曲: XXX)	(歌唱を希望する歌手: 女性を希望)	.....
制作依頼ID=811 制作依頼ID=103	ジャズ	(原文)	(好きなアーティスト: XX)	(演奏希望の楽器: ギターを希望)	.....
制作依頼ID=821 制作依頼ID=103, 104	クラシック	(原文)、(制作対象者の顔写真画像)	(制作依頼者の歌唱可能な曲: XXX)	(演奏希望の楽器: ピアノを主に使用)	.....
.	.	.	.	.	.....
.	.	.	.	.	.....

【 図 5 】



【 図 6 】



【 図 7 】

制作者の登録画面51

入力項目	説明	入力欄	.....
名前	お名前を漢字およびカタカナで入力して下さい。	A	.....
住所	ご住所および郵便番号を入力して下さい。	〒100-0000 A県B市C町1-2-3	.....
連絡先	連絡先の電話番号、FAX番号、ならびに、メールアドレスを入力して下さい。	電話: 0000-00-0000 FAX: 0000-00-0000 メール: 00@00.CO.JP	.....
212 制作希望のジャンル	あなたの得意とする音楽のジャンルを入力して下さい。	ロック、ポップス	.....
213 制作者の紹介データ	お客様に対する想いや、音楽に関する経歴について、簡単に記入して下さい。	*音楽大学卒業、音楽歴10年「心を込めて、制作致します」	.....
214 作品のサンプル	お客様に視聴して頂くあなたの過去の作品を添付して下さい。(例: 作詞はテキスト形式、作曲は音源データ形式)	(演奏の録音データ: MP3形式)	.....
215 制作希望の担当分野	音楽の制作工程において、ご担当を希望される分野を、入力して下さい。	作曲、編曲(特にギター)	.....
.	.	.	.....

【 図 8 】

制作依頼の登録画面52

入力項目	説明	入力欄	.....
名前	お名前を漢字およびカタカナで入力して下さい。	E	.....
住所	ご住所および郵便番号を入力して下さい。	〒100-0000 D県E市F町4-5-6	.....
連絡先	連絡先の電話番号、FAX番号、ならびに、メールアドレスを入力して下さい。	電話: 0000-00-0000 FAX: 0000-00-0000 メール: 00@00.CO.JP	.....
232 制作希望のジャンル	制作を希望する音楽のジャンルを入力して下さい。	ロック、ポップス	.....
233 制作素材データ	音楽を制作する際の素材となるデータを入力して下さい。	(原文:「離れて別れて暮らしている小さな娘へ、これからもずっと君の行く先を見守っているよと、父親が深い愛情をこめて娘の幸福を祈る歌です。」) (歌詞に"愛してる"を含むこと)	.....
234 制作希望データ	音楽を制作する際の希望について入力して下さい。例えば、好きなアーティスト、好きな曲名などはアレンジの参考になります。	(好きなアーティスト: XXグループ) (好きな曲: XXX)	.....
235 演奏希望データ	演奏する際の希望について入力して下さい。例えば、使用する楽器、歌手の性別などです。	(演奏希望アーティスト: XXグループ)	.....
.	.	.	.....

【 図 9 】

制作者の検索画面53

検索条件	検索項目	入力欄
条件1	制作者の個人情報	住所=東京都 性別=女性
条件2	制作希望の担当分野	作曲
条件関係		条件1かつ条件2を満たす制作者を検索

【 図 1 0 】

制作依頼の検索画面54

検索条件	検索項目	入力欄
条件1	制作希望のジャンル	ロックまたはポップス
条件2	制作希望の担当分野	作曲、作詞、歌唱
条件関係		条件1かつ条件2を満たす制作者を検索